

物流の円滑化

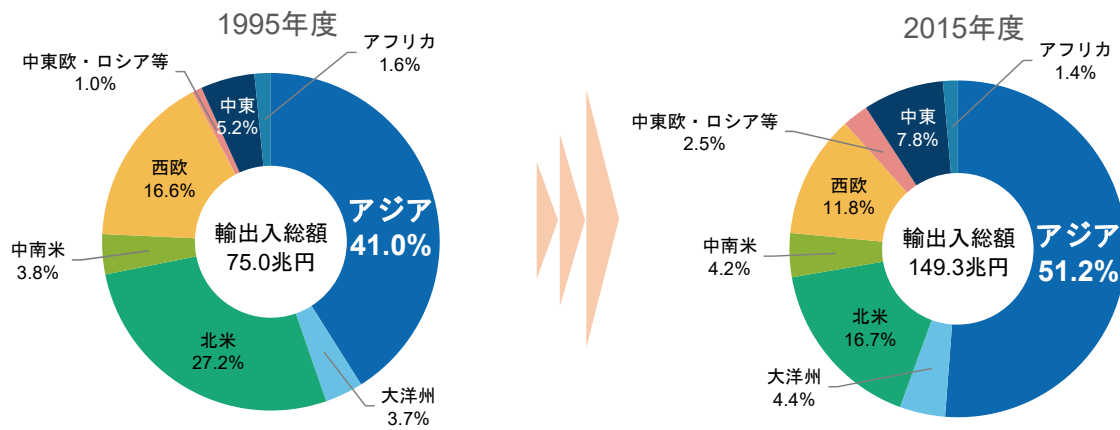
広域物流ネットワークの強化

- 新潟港・清水港等の国際ゲートウェイへのアクセス性向上
- 日本海と太平洋を結ぶ物流ネットワークの強化

課題 海外貿易の変化に対応した道路ネットワークの必要性

- アジア諸国の急激な経済成長に伴い、日本の貿易構造も対アジアへと重心がシフトしている。
- アジア圏への輸出増加に対応した高速道路ネットワークの充実が必要。

【日本の相手国別の貿易額シェア】



出典: 財務省貿易統計 (H7年度、H27年度)

効果 物流速達性向上による経済活性化・国際競争力強化

- 中部横断自動車道（南側区間を含む全線）が完成することで、一極集中から脱却した日本海・太平洋の二面活用が図られ、経済活性化に寄与。

中部横断自動車道による広域物流ネットワーク強化

【新潟港、清水港両方向への物流アクセス向上】



【太平洋・日本海ゲートウェイプロジェクト】（抜粋）

我が国の国際競争力を強化するため、コンテナターミナルの整備や空港容量の拡大等の基盤強化、ゲートウェイへのアクセスの向上等を総合的に進めることにより、太平洋、日本海に面している広域首都圏の地理的有効性を生かした国際ゲートウェイ機能の強化を図る。

〔太平洋側ゲートウェイ（部分抜粋）〕

- ・ 千葉港、茨城港等における多目的国際ターミナル等の整備、清水港、小名浜港等の利用促進による効率的な国内外の海上輸送網の構築

〔日本海側ゲートウェイ（部分抜粋）〕

- ・ 東アジアの発展ポテンシャルを踏まえた、北関東地域及び埼玉県北部の内陸型製造業等による新潟港の利用促進

出典: 国土交通省 首都圏広域地方計画 (平成28年3月)
URL=<http://www.ktr.mlit.go.jp/shihon/shihon00000025.html>